

公安委員会の開催概要

公安委員会は、令和8年2月12日（木）に開催された。

1 決裁事項

審査請求の受理について

2 報告事項

(1) 犯罪情勢等について（令和7年）

県警察から、令和7年の犯罪情勢等に関する報告があった。

刑法犯の認知・検挙状況については、認知件数は2,647件（前年比71件増加）、検挙率は58.5%（前年比0.2ポイント上昇）であった。また、重要犯罪や窃盗犯の認知件数の推移等について報告があった。

令和7年は、「特殊詐欺等」及び「住宅対象侵入窃盗」を重点犯罪に選定し、抑止対策を推進したとのことであった。

委員から、「刑法犯の認知件数が増加する中、県警察では高い検挙率を維持したことは承知した。」「自転車盗や侵入窃盗の被害を未然に防ぐため、今後も多様な活動を通じて施錠を呼びかけていただきたい。」との発言があった。

(2) 特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺の認知、検挙状況等について（令和7年・暫定値）

県警察から、令和7年中の特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺の認知、検挙状況等（暫定値）に関する報告があった。

令和7年中の特殊詐欺認知件数は99件（前年比36件減少）、被害総額は約7億4,100万円（前年比約3億6,500万円増加）であった。また、SNS型投資・ロマンス詐欺認知件数は83件（前年比18件増加）、被害総額は約5億7,500万円（前年比約4,200万円増加）であり、両者を足すと、認知件数は減少したものの、被害額は統計開始以来最悪となった。

特殊詐欺等事件の検挙件数は27件（前年比20件増加）、検挙人員は14人（前年比12人増加）であった。

特殊詐欺等の助長犯の検挙件数は176件（前年比10件増加）、検挙人員は52人（前年比9人減少）であった。

今後の対策として、特殊詐欺連合捜査班を活用した実行犯の検挙、犯行利用口座や犯行利用されたSNSアカウント等の迅速な利用停止措置、インターネット利用者に対するターゲティング広告、県民目線で工夫を凝らした広報啓発活動等の対策を推進していくとのことであった。

委員から、「特殊詐欺等の手口は、次から次へと変化していくため、多くの県民に周知されるよう、創意工夫した広報啓発活動を続けていただきたい。」との発言があった。

(3) 秋田県冬期防災訓練等への参加結果について（令和7年度）

県警察から、令和7年度秋田県冬期防災訓練等への参加結果に関する報告があった。

1月31日、美郷町において、「秋田県冬期防災訓練」及び「秋田県弾道ミサイルを想定した住民避難訓練」に参加したとのことであった。

委員から、「人命救助の現場は一刻を争うため、訓練を積み重ねて練度を高めていただきたい。」「冬期間のように、より厳しい条件で訓練を行うことが大切であり、これからも継続していただきたい。」との発言があった。